

女性ホルモン失調
と
幹細胞
治療



女性ホルモン失調

女性のホルモンバランスの乱れは、エストロゲン、プロゲステロン、テストステロンといった主要なホルモンの正常なレベルに影響を与え、女性の生理機能にさまざまな変化を引き起こします。これらのホルモンは、月経周期、生殖健康、全体的なウェルビーイングを調整する上で重要な役割を果たしています。ホルモンバランスの乱れは、不規則な月経、気分の変動、疲労、性欲の変化など、さまざまな症状を引き起こす可能性があります。

この問題に対処するためには、従来のホルモン療法に加えて、包括的で科学的根拠に基づいたアプローチが必要です。しかし、従来の治療法には副作用が伴うこともあります。近年の研究では、幹細胞治療が女性のホルモンバランスの乱れに対する有望な治療法であることが示唆されています。この革新的なアプローチは、細胞レベルで臓器間およびリガンド間のシグナルを調整することにより、ホルモンバランスを回復させる安全かつ効果的な代替手段を提供する可能性があります。



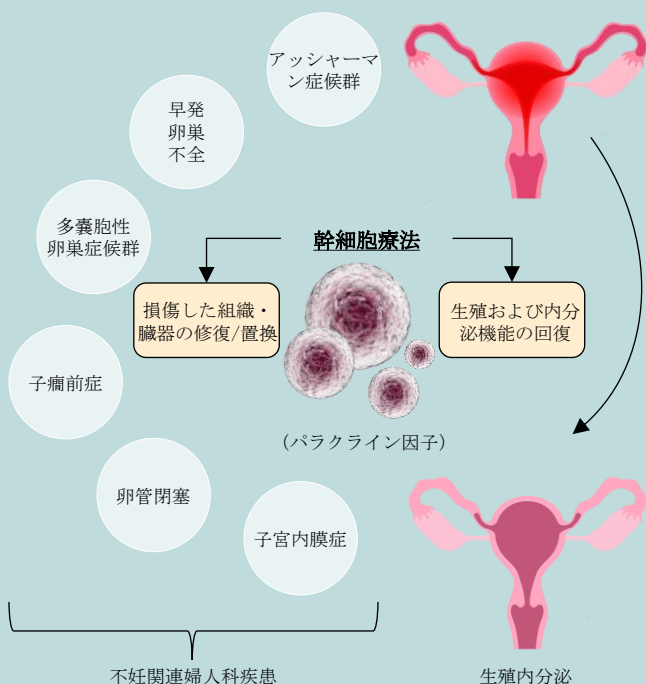
- 不規則または無月経
- 体重増加
- 疲労感 & エネルギー不足
- 肌の問題
- 脱毛 & 異常な毛の成長
- 睡眠障害
- イライラ感や気分の変動
- ほてり

HELENE 幹細胞治療の力

● 静脈内投与

● 内分泌調整

● 損傷組織の修復



HELENEクリニックでは、女性のホルモンバランスの乱れに対処することの重要性を深く理解しています。当院の革新的なアプローチでは、幹細胞治療を活用して体内のシグナルを調整し、卵巣機能の回復をサポートします。幹細胞は、ホルモン異常が発生している部位に集まる特性（ホーミング効果）を持ち、成長因子やサイトカインを分泌することで強力な抗炎症作用を発揮し、組織の再生を促進し、主要なホルモンの分泌を調節します。

さらに、幹細胞は内分泌腺の活動を調整することが示されており、ホルモンバランスの回復に大きく貢献します。また、幹細胞由来のエクソソームは、成長因子や調節分子を豊富に含んでおり、ホルモン調整と組織修復をさらにサポートします。

